

第 10 回  
日本ウズベキスタン／ウズベキスタン日本  
経済合同会議  
議定書

2011年2月8日

於：東京

ウズベキスタン共和国と日本との通商経済関係における互惠をさらに強化し発展させることを目的として、2011年2月8日、東京において日本ウズベキスタン経済委員会とウズベキスタン経済委員会(以下双方とする)の第10回経済合同会議が開催され、合同会議には両経済委員会のメンバー、ならびにウズベキスタン共和国および日本の政府、経済界の代表が参加した。参加者名簿は添付のとおり。

合同会議において：

1. 双方は、イスラム・カリモフ・ウズベキスタン共和国大統領閣下の日本公式訪問を歓迎し、ウズベキスタン共和国と日本との間の二国間関係と友好のさらなる進化と発展の期待を表明した。
2. 双方は、二国間経済関係発展の大きなポテンシャルを指摘し、日本とウズベキスタン共和国との貿易・経済関係の発展に一層努力する必要性を確認した。
3. 双方は、日本とウズベキスタン共和国との通商経済の現状と発展の展望に関する多岐にわたる諸問題について情報交換、意見交換を行った。ウズベキスタン側からは、広範囲にわたる日本とウズベキスタン共和国と相互協力分野における有望案件を実施するための提案がなされた。
4. 双方は、平等と互惠を原則とした長期にわたる安定した双方の協力の発展が重要であるとの観点から、輸出入の拡大のほか、以下のウズベキスタン共和国の経済産業分野における日本からの投資ならびに先端技術導入を含む協力を進化させる諸作業を継続することで同意した。
  - 石油ガス、化学工業
  - 資源開発と加工
  - エネルギー・インフラ
  - 輸送および通信
  - 繊維産業
  - 電機産業
  - 自動車産業
5. 双方は、JBIC、JICA、JOGMEC、NEXI、JETRO および ROTOBO の活動における協力の継続と強化の期待を表明した。
6. 双方は、合同会議に先立ち行われた交渉の結果、ウズベキスタン共和国、及び日本の組織、経済界との間で有望な協力案件に関する一連の文書が調印されたことを歓迎した。

7. 双方は、双方の都合の良い時期に、「第 11 回日本ウズベキスタン・ウズベキスタン日本経済合同会議」をタシケントにおいて開催することに合意した。

本議定書は同一の効力を有する日本語、ウズベク語ならびにロシア語各 2 部が作成され、2011 年 2 月 8 日、東京において調印された。

大橋信夫  
日本ウズベキスタン経済委員会会長  
三井物産株式会社顧問

R. アジモフ  
ウズベキスタン日本経済委員会会長  
ウズベキスタン共和国第一副首相  
財務大臣